

Mizuho Daily Market Report

2024/3/8

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.99	148.05	▲1.33	▲1.93
EUR	1.0893	1.0948	+0.0049	+0.0143
AUD	0.6589	0.6620	+0.0056	+0.0123
SGD	1.3366	1.3332	▲0.0056	▲0.0124
CNY	7.1986	7.1926	▲0.0049	+0.0040
MYR	4.6975	4.7052	▲0.0271	▲0.0376
THB	35.59	35.58	▲0.12	▲0.29
IDR	15655	15653	▲47	▲62
PHP	55.84	55.84	▲0.04	▲0.37
INR	82.79	82.79	▲0.04	▲0.13
VND	24695	24690	+10	+42

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.083%	▲1.9 bp	▲16.8 bp
日本(10年)	0.731%	+1.4 bp	+2.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.306%	▲1.6 bp	▲10.5 bp
オーストラリア(5年)	3.671%	+0.9 bp	▲7.9 bp
シンガポール(5年)	2.984%	▲1.0 bp	▲5.1 bp
中国(5年)	2.205%	+1.7 bp	▲1.7 bp
マレーシア(5年)	3.553%	▲0.4 bp	▲3.8 bp
タイ(5年)	2.236%	▲0.3 bp	▲2.3 bp
インドネシア(5年)	6.507%	+0.6 bp	+1.6 bp
フィリピン(5年)	6.084%	+0.3 bp	▲0.2 bp
インド(5年)	7.054%	▲1.7 bp	▲2.0 bp
ベトナム(5年)	1.700%	+5.0 bp	+5.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,791.35	+0.3%	▲0.5%
N225(日本)	39,598.71	▲1.2%	+1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,974.22	+1.2%	+2.0%
ASX(オーストラリア)	4,208.82	+0.2%	+1.1%
FTSTI(シンガポール)	3,133.78	▲0.1%	▲0.3%
SSEC(中国)	3,027.40	▲0.4%	+0.4%
SENSEX(インド)	74,119.39	+0.0%	+2.2%
JKSE(インドネシア)	7,373.96	+0.6%	+0.8%
KLSE(マレーシア)	1,535.83	+0.3%	▲1.0%
PSE(フィリピン)	6,837.34	▲0.6%	▲1.5%
SETI(タイ)	1,372.16	+0.1%	+0.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,268.46	+0.5%	+1.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.09	+0.3%	+1.5%
金	2,159.98	+0.5%	+5.7%
原油(WTI)	78.93	▲0.3%	+0.9%
銅	8,546.49	+0.7%	+1.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.10	-	148.90
EUR/USD	1.0890	-	1.1000
AUD/USD	0.6590	-	0.6690
USD/SGD	1.3300	-	1.3480
USD/CNY	7.1850	-	7.2280
USD/INR	4.6560	-	4.8050
USD/THB	35.30	-	36.78
USD/IDR	15530	-	15800
USD/PHP	55.40	-	56.30
USD/INR	82.30	-	83.20
USD/VND	24,300	-	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台前半でオープン。前日からの流れを引き継ぎ、オープン直後から軟調推移し、149円割れを示現。一部の政府関係者がマイナス金利解除を容認したとの報道や中川日銀審議委員の物価安定目標実現についての前向きな発言を受け、早期マイナス金利解除の思惑が拡大し、円買いの勢いは止まらず148円台半ばまで下落。結局、そのままの水準で欧州時間に渡った。アジア通貨はほとんどの通貨が堅調に推移。年内の米利下げ期待が高まったことを受けて堅調な展開となった。

海外市場のドル円は一段の円買いが進み、147円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米第4四半期の単位人件費が下方修正された事や、予想より悪化した米失業保険の結果が一段の重しとなり、147円台半ばまで続落。その後は下げ渋り、148円台前半まで反発。続いてパウエルFRB議長が上院議会証言にて、「利下げ開始に必要な確信はそう遠くない」との認識を示し、発言直後は売りで反応するも、影響は限定的で、水準を戻す。午後は買い一巡となり、148円台度付近まで反落。その後もほぼ横ばいで推移し、148円台付近でクローズ。

【金利】

米金利市場は、中期ゾーンで特に金利低下し、イールドカーブはブルスティープ化した。朝方は、EC日理事会での利下げ示唆を受けて欧州債が買われたことへの連れ高で、金利は一時低下したが、その後は戻したものの、利下げ時期が近いとの見方が強まったことで、引けにかけては再度金利低下となった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。パウエル議長の利下げ開始時期に関する発言もあり、市場では6月の利下げ織込みが高まり、ドル売りが進んだ。足元、日銀の金融政策変更期待も高まっており、当面は上値の重い展開が続きそうだ。

【本日の予定】

(日本) 1月 国際収支:経常収支
(日本) 1月 家計支出
(日本) 1月 景気動向指数(速)
(日本) 2月 景気ウォッチャー調査
(日本) 2月 銀行貸出動向
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y
(アジア) 1月 フィリピン 失業率
(アジア) 1月 韓国 国際収支:経常収支
(アジア) 休場 インド
(欧州) 1月 キリシヤ 鉱工業生産
(欧州) 1月 仏 経常収支
(欧州) 1月 伊 PPI
(欧州) 1月 独 PPI / 鉱工業生産
(欧州) 2月 キリシヤ CPI
(欧州) 2月 愛 CPI
(欧州) 4Q ユーロ圏 GDP(確)
(米国) 2月 失業率 予想:3.7% 前回:3.7%
(米国) 2月 平均時給 予想:0.3% 前回:0.6%
(米国) 2月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 予想:190k 前回:353k

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はすべて銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。